

愛着と誇りを持つことのできる美しいまちづくり

主担当部局:景観·環境局



「城跡と奈良盆地が眺望できる郡山城天守台付近」(奈良県景観資産より)

目指す姿

奈良のきれいな"まちなみ"と"環境"を守り・創ることを通して、県民が愛着と誇りを 持つことのできる美しいまちづくりを目指します。



● 奈良の景観の向上を目指し、

優れた景観の保全と創造、 好ましくない景観の改善

に取り組みます。

●廃棄物の排出量削減とリサイクルを 推進し、

家庭ごみ排出量を平成29年度

までに 602g/人・日 にします。

(平成24年度: 633g/人·日)

その結果、最終処分率を平成29年度 までに **10.3%** にします。

(平成24年度: 13.6%)

●清流を保全し、

復活

させます。

大和川: 環境基準 (BOD値) を達成させます。(平成25年度環境基準達成率: 62%)

● CO₂排出量を平成32年度までに平成17年度比で

12.3%削減します。

(平成24年度: 平成17年度比4.4%增)

●今でも豊かな自然が多く残されている と思う人の割合を平成27年度までに

75%

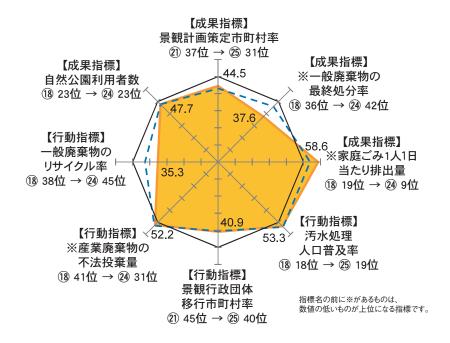
にします。

(平成23年度:65%)

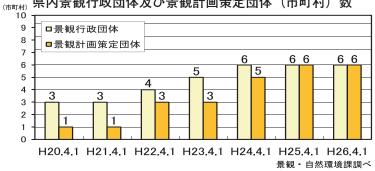
覝

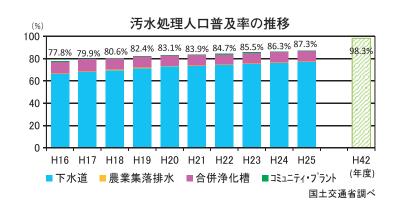
分 析

■主な指標









- 平成21年度の景観条例施行・景観計画策定以来、各市町村に対して制度を周知 し、各市町村において意識が醸成されてきた結果、景観行政団体移行市町村率、 景観計画策定市町村率とも全国順位は上昇しています。
- 汚水処理人口普及率は、下水道や浄化槽の整備促進などにより、順調に上昇し ています。

戦略1

美しく風格のあるまちなみを守り、創り、育てます。

主担当課:景観・環境局景観・自然環境課

戦略目標

▶ 平成29年度末までに景観資産の登録数を100件にします。

(平成26年11月現在:83件)

※景観資産とは、県内の景観的に価値のある建物や樹木、すばらしい景観を望める場所などを募集し、審査の後に登録されたものです。

取り組み

「なら四季彩の庭」づくりの推進

景観法に基づく建築物外観等の規制誘導

広域幹線沿道景観向上の推進(屋外広告物の規制誘導)

景観に関する住民間の協定等地域の良好な 景観づくり

ら四季彩の庭 「なら四季彩の庭」シンボルマーク

景観資産の登録と活用

景観サポーターの活用

無電柱化の推進

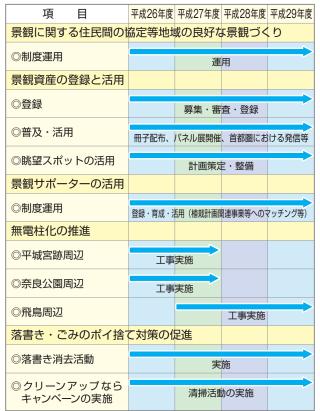
落書き・ごみのポイ捨て対策の促進



馬見丘陵公園

工程表

二 1王以					
項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
「なら四季彩の庭」づら	くりの推進	崖			
◎彩り植栽		植栽の整備	・維持管理		
◎植栽計画の拡充		実			
◎植栽計画の広報·普及	シン <mark>ボルマーク</mark> プレートの <mark>設置</mark>				
◎市町村・地元団体等 の支援	1	植栽情報		—	
	植栽	整備に係る補助制度の協働管理の促進		連用	
景観法に基づく建築物が			等の設立支	援	
○制度運用 広域幹線公益星期点 b.6		運	用		
	景観計画の検証・見直し の推進(屋外広告物の規制誘導)				
四级轩禄加卢泉既问工		ETNACT	מינווזעע כיינו)守 <i>)</i>	
◎規制等による取り組み	違反対策に係る市町村の支援				
	修景に係る補助制度の運用				
◎ガイドライン等によ る誘導	協議会 (県·市町村) の設立	協議会で検討			
		ガイ	ドラインの 重点路	作成 線毎に誘導	



戦略2 きれいな生活環境を創造します。

主担当課:景観:環境局環境政策課

戦略目標

- ▶ 生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目指し、平成42年度までに**汚** 水処理人口普及率を98.3%にします。(平成25年度:87.3%)
- ▶ 平成27年度の再生可能エネルギーの設備容量を平成22年度比の3.8倍を 目指します。(平成22年度:57,481kw)
- ▶ 節電により、平成22年度の電力使用量から5%削減した状態を平成27年度 まで維持します。
- ▶ 平成29年度までに県民1人1日当たりの家庭ごみ排出量を48g削減します。 (平成22年度: 650g/人·日比)
- ▶ 平成27年度までに県民の「生物多様性」の認知度を80%にします。 (平成23年度: 45%)

取り組み

河川の水質の保持・水量の確保

水辺環境の整備と里川の再生

CO2排出量の削減

CO2吸収源の整備

廃棄物の排出抑制・循環的利用の促進

廃棄物の適正処理の推進、不法投棄・不適正 処理の撲滅

生物多様性なら戦略の推進



河川愛護活動 (佐保川)

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
河川の水質の保持・水	量の確保			
○大和川水質汚濁の見える化 (ホームページ等で公開)		公	開	
◎環境用水の確保		検討・	実施	-
○合併浄化槽への転換・ 設置促進、維持管理の充実		設置補助	等の実施	
◎下水道の整備促進		整備	実施	-
◎大和川清流復活ネット ワークの活動		情報発信	等の実施	
水辺環境の整備と里川の	の再生			
◎大和川一斉清掃の開催		清掃活重	の実施	
◎河川美化活動の促進	活動団体の	募集及び活	動の見える	化の実施
○良好な河川空間確保の ための重点除草	包括的な	維持管理マ	マネジメント	の実施
◎奈良県山の日・川の日 啓発活動の推進		啓発活動	の実施	
CO2排出量の削減				
◎多様な再生可能エネ ルギー等の普及拡大	整備	の検討・推	進、導入支	援等
◎奈良の省エネ・節電 スタイルの推進	育館	ミスタイルの!	定着、普及啓	発

項目		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
CO2吸収源の整	備				
◎適切な森林整備					
(間伐)の推進			整備等の	の実施	
◎県産材の利用促進 (県産材住宅等)					
		補助等の	の実施		
廃棄物の排出抑	制・循環	景的利用	D促進		
○排出抑制・減量化の 技術・研究開発の促進					
		補助等の	の実施		
◎ごみ資源の循環的利	○ごみ資源の循環的利用の促進				
(奈良モデル・プロジェクトの推進)		検討・	実施		
廃棄物の適正処理の推進、不法投棄・不適正処理の撲滅					
◎排出事業者責任の徹底		指導等の	の実施		
○不法投棄・使用済家 電等対策の強化 (奈良モデル・プロジェクトの推)		104747			
		北京	D##	\rightarrow	
		指導等の	り 美施		
生物多様性なら	戦略の技	推進			
◎なら生物多様性保全 ネットワークの設置 及び強化・充実					
		連携・協作	動の実施		
◎自然公園の整備と	利用促進		L ノ1. か	***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		トイレや標	献寺の整備		

これまでの成果

世帯当たりの**電力消費量は減少** しています。(平成18年度5,903Kwh/ 年→平成24年度5,682Kwh/年)

特定希少野生動植物の保護を図るため、 保護管理事業計画を順次策定 しています。(計画の策定 平成21年度:0→平成26年度:4<ニッポンバラタナゴ、カスミサンショウウオ、ツクシガヤ、ナゴヤダルマガエル>) 「なら四季彩の庭」づくりについて、平成25年度までに整備に着手した28エリアに加えて、新たに8つのエリアで整備に着手しました。

1人1日当たりの家庭ごみの排出量は減少しています。(平成17年度756g/人・日→平成24年度633g/人・日)

産業廃棄物の排出量は減少しています。(平成17年度1,969千トン/年→平成22年度1,539千トン/年)

主な指標の動き

■よくなっている指標

景観計画策定市町村率

2.6% (平成21年度 全国37位)



15.4% (平成25年度 全国31位)

全国順位は高くないものの、景観計画策定市町村 率が上昇しました。

※家庭ごみ1人1日当たり排出量

739g/人·日 (平成18年度 全国19位)



633g/人·目 (平成24年度 全国9位)

1人1日当たりの家庭ごみの排出量は減少し、全国順位が上昇しました。

※一般廃棄物の最終処分率

14.2% (平成18年度 全国36位)



13.6% (平成24年度 全国42位)

一般廃棄物の最終処分率は、全国順位は低下しているものの、下降傾向にあります。

■変化が見られない指標、低下している指標

自然公園利用者数

15,670千人 (平成18年度 全国23位)



14,163千人 (平成24年度 全国23位)

自然公園の利用者数は、減少傾向にあるものの、 全国順位は横ばいで推移しています。

指標名の前に※があるものは、数値の低いものが上位になる指標です。

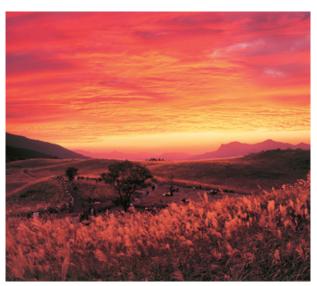


三室山が眺望できる竜田公園、岩瀬橋(奈良県景観資産より)

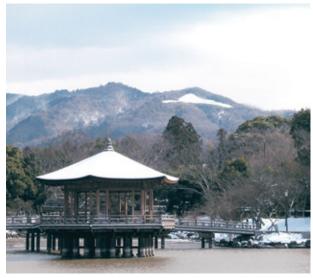


飛鳥の集落と周辺の山々が眺望できる甘樫の丘(奈良県景観資産より)

春夏秋冬



曽爾高原と周辺の山々が眺望できる曽爾高原お亀池周辺 (奈良県景観資産より)



浮見堂、高円山が眺望できる鷺池湖畔(奈良県景観資産より)